



「art venture ehime fes 2025 (アートベンチャーエヒメフェス2025)」 4月30日よりオープンコール開始!

愛媛県と東京藝術大学は、2024年度より、アート(文化芸術)を介して人々や地域とのつながりを深め、新たな価値や関係を生み出し、“愛媛の未来を創造する”ことを目的としたアートコミュニケーションプロジェクト「art venture ehime」を展開しており、少子高齢化による人口減少が進むなか、プロジェクトの主体となるアートコミュニケーター「ひめラー」を中心に、愛媛県と東京藝術大学、地域の人々が協力し、福祉やスポーツ、観光、食、まちづくりなどのさまざまな分野にアート(文化芸術)を取り入れ、地域の課題に取り組んでいます。

このたび、「art venture ehime」の取り組みを広く周知し、より多くの方々が文化芸術に親しみ、参加できる機会を創出することを目的として、2025年10月18日(土)～11月3日(月・祝)まで、県民が文化芸術やスポーツ、学びの場として利用できる「とべもり+(プラス)」を中心に県内4エリア、8ゾーンの会場にて、県民参加型のアートフェスティバル「art venture ehime fes 2025」を開催します。

本フェスティバルの開催にあたり、文化芸術、スポーツ、学びの場として幅広く活用されている「とべもり+(プラス)」をはじめ地域の様々な拠点を舞台に、アートの力や可能性を表現しながら、地域の豊かな資源の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大や地域の活性化にも繋がるアート作品やプロジェクトを募集するオープンコールを実施します。

また、創作活動の準備段階のリサーチから地域の人々との出会い、交流、クリエイションまでのプロセスを大切に、アーティストやひめラーと一緒に、地域の人々がアートを自分ごととして受け取ることができる関係づくりを目指しています。

テーマ：ここにある豊かさ

- 過去と未来の架け橋 / 地域の伝統や歴史をアートで表現し、それを現代的な視点から再解釈する。
- 自然と文化の共生 / 地域の自然環境とそこに根付く文化の関係をアートを通じて探求する。
- 色彩豊かな地域の声 / 地域住民のストーリーや生活をアートで可視化し、観る人々に地域の魅力を伝える。
- アートでつながるコミュニティ / 地域の人々を巻き込み、共同作業としてのアートプロジェクトを通じて絆を深める。
- 街の中の小さな物語 / 地域の日常の中に潜む小さな物語を掘り起こし、それをアートで表現する。

各会場の特性や文化を尊重しつつ、アートを通じて新たな価値や理解を生むことを目指しています。

[募集期間]

2025年4月30日(水)～2025年6月22日(日) 23:59 (JST)

[応募資格]

art venture ehime fes2025 の趣旨を理解している方。年齢や国籍、プロ、アマチュア、個人、団体などは一切問いません。

[審査の流れ]



[応募方法]

公式ウェブサイトから各会場(3エリア、7ゾーン)ごとの規定の応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入したうえで、応募フォームよりアップロードしてください。

6月22日(日)の23:59応募締切です。

art venture ehime fes 2025
オフィシャルサイト
<https://artventureehime.com/fes2025>



応募フォームはコチラ
<https://forms.gle/qR87212WZBBqnfADA>



[採用について]

各会場(3エリア、7ゾーン)ごとに3~5作品を採用予定です。(状況に応じて採用作品数は増減します。)
採用作品には、50~400万円を目安とした制作費委託金が支払われます。

- ※内子町エリア小田ゾーンは募集対象外です。
- ※最終的な予算は、見積の提出を経て決定します。
- ※制作費委託金には、交通費・宿泊費等、制作に必要な全ての費用を含みます。

[アートコミュニケーションツアー(現地説明会)]

コミュニケーションディレクター、アートコミュニケータ(ひめラー)、事務局スタッフが各会場をご案内するアートコミュニケーションツアー(現地説明会)を5月17日(土)・18日(日)に実施します。詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。

[本公募の特徴]

・アートコミュニケータ(ひめラー)との連携

アートコミュニケータ・ひめラーが、アーティストの制作やリサーチに伴走し、地域との関係性構築やコーディネートを行いながら、プロジェクトを共に「かたち」にしていきます。

・記録(クリエイティブ・アーカイブ)の実施

art venture ehime fes 2025 では、成果物だけでなく、リサーチや制作のプロセスそのものを芸術資源と捉えています。
活動中は、記録チームが取材・撮影を行い、アーティスト・ひめラー・地域の人々との関係性や現場の動き、その背景にある思考を丁寧に記録し、発信します。この記録は、表現を深める足跡となり、愛媛県やその地域にとっては文化を次につなぐ共有資源となることを目指しています。

・滞在リサーチに係る費用の補助

1次審査を通過したアーティストには、愛媛県内でのリサーチや滞在に係る費用を支援します。滞在日程は事務局との相談をもとに決定し、1組あたり10万円を上限として、交通費や宿泊費等の必要経費を支給します。

[審査員]

- 日比野 克彦 (東京藝術大学 学長)
今村 有策 (東京藝術大学 副学長 / 大学院美術研究科 グローバルアートプラクティス専攻 教授)
三上 亮 (東京藝術大学 美術学部 工芸科 教授)
スブツニ子! (マルチメディアアーティスト)
陳愷璜 (台北芸術大学 学長)
夏井いつき (俳人・俳句集団「いつき組」組長・エッセイスト)
- ※審査結果に関するご質問にはお答えできません。ご了承ください。
※愛媛県・各会場関係者がオブザーバーとして参加します。

[お問い合わせ]

本公募に関する質疑応答などは
右記フォームよりお問い合わせください→
※回答を約束するものではありません。ご了承ください。
※電話などフォーム以外でのお問い合わせには対応していません。



[関連ウェブサイト]



art venture ehime fes 2025
オフィシャルサイト
<https://artventureehime.com/fes2025>



art venture ehime
オフィシャルサイト
<https://artventureehime.com>



art venture ehime fes 2025
アートコミュニケーションブック
<https://note.com/artventureehime>



とべもり+(プラス)
オフィシャルサイト
<https://plus.tobemori.com/>

< art venture ehime fes 2025 開催概要 >

【名称】art venture ehime fes 2025 (アートベンチャーエヒメフェス2025)

【期間】2025年10月18日(土)~11月3日(月・祝)

【会場】

- ・とべもり+(プラス)エリア
えひめこどもの城ゾーン(松山市)、愛媛県立とべ動物園ゾーン(砥部町)、愛媛県総合運動公園ゾーン(松山市)、えひめ森林公園ゾーン(伊予市)
- ・砥部町エリア
砥部ミュージアム通りゾーン
- ・今治市エリア
丹下建築ゾーン、今治市・里山ゾーン
- ・内子町エリア
小田ゾーン

【主催】art venture ehime (愛媛県×東京藝術大学)

※2025年4月現在の情報です。 ※情報の追加・変更については随時、公式ウェブサイトにてお知らせします。

